

# 中国語教育学会会報

第 36 号 (通巻 61 号) 2013 年 2 月 8 日発行

192-0393

東京都八王子市東中野 742-1

中央大学法学部 佐藤富士雄研究室内

中国語教育学会

HP <http://www.jacle.org/>

Email [headoffice@jacle.org](mailto:headoffice@jacle.org)

郵便振替口座 00110-1-191152

## 目 次

- (1) 2012 年度第 2 回理事会開催
  - (2) 2013 年度全国大会準備会発足
  - (3) 2013 年度全国大会研究発表・実践報告者募集のお知らせ
  - (4) 事務局からのお知らせ
- 

### (1) 2012 年度第 2 回理事会開催

2012 年度第 2 回理事会は、2012 年 12 月 22 日 (土) に、事務局の置かれている東京八王子市の中央大学多摩キャンパスで開催されました。出席者は以下の通りです。

佐藤 富士雄 (会長)、平井 和之、藤井 達也、山田 眞一 (以上代表理事)

岩本 真理、植村 麻紀子、大川 完三郎、加藤 晴子、清原 文代、胡 興智、陳 淑梅、

西 香織、丸尾 誠、村上 公一、依藤 醇 (以上理事)

原 正人、大宅 利美、桑野 弘美 (以上幹事)

主な議題と審議結果は以下の通りです。

議題 1 . 次年度全国大会について

**日取り・会場** : 2013 年度全国大会は、2013 年 6 月 1 日 (土)、2 日 (日) の両日、佐藤会長の勤務校である東京都八王子市の中央大学多摩キャンパスで開催することになった。

**運営組織** : 中国語学会の準備委員会方式を参考に、会場校中心に大会準備委員会を組織し、理事会員の意見も反映させて運営する方向でおこなうことになった。

**初日の講演・シンポジウムのテーマ、報告者の決定方法** : 準備委員会を主体に、理事会の意見も反映させて決定する。

**2 日目の研究発表** : 早めにホームページで発表者募集を開始する。応募を受けて、要旨によりある程度の選考を行い、採択された発表の数と分野に基づいて分科会の数を決める。

議題 2 . 会誌『中国語教育』第 11 号編集状況について

投稿原稿は 15 篇で、採択数は 4 篇であった。これに依頼原稿、投稿規定、活動記録などを加えると、全体のページ数は 150 ページ程度になる見込みであるとの報告があった。また原稿のジャンル分けについては、研究論文、研究ノート、実践報告等、投稿者が自主的に判断するが、最終的な判断は査読者と編集委員会が協議して行うこととなった。

議題 3 . 編集委員会内規の変更について

山田眞一編集委員長から、従来の内規にあった編集委員の人数、任期、交代方法に関する規定を実情に合わせて変更すること、従来の内規に無かった委員長選出方法、その権限、委員長代理を置くことに関する規定を追加することが提案され、審議の結果大筋で承認し、ただちに発効させることになった。

#### 議題4．次期編集委員の委嘱について

山田眞一編集委員長から、議題3の承認を受けて、編集委員の半数の交代に備え、以下の4名の方に編集委員就任を委嘱し、内諾を得ていることが報告された。

佐々木勲人氏（筑波大）、田邊鐵氏（北海道大）、森宏子氏（流通科学大）

王占華氏（北九州市立大）

審議の結果、上記4名の方に4月1日から編集委員に就任していただくことが承認された。

#### 議題5．ホームページ上での行事の紹介について

佐藤会長から、本学会の行事と関連他団体の行事のホームページ上での紹介のしかたを改めて、本学会の行事はトップページに掲載して目立つよう配置し、他団体の行事については、「関連他団体の行事」という項目をクリックすると見られるようにして、区別を設けたいとの提案があった。審議の結果、他団体の行事については、事務局からのお知らせの部分に「関連他団体の行事に追加があります」とだけ表示し、クリックすると事務局が情報を得た日付順に配列された他団体の行事が見られるように改めることで承認された。

#### 議題6．「中国語教育ハンドブック」の編集について

岩本真理理事より、「中国語教育ハンドブック」の編集について、どの委員も多忙で時間を割けないためにこのところ全く進捗を見ていないことが報告され、それについて意見を交換した。

中国語教育の実態調査については、荒川会長の時代から科研費の申請をしたが採用されなかったこと、個人的な実態調査を超えるものができるかどうか、全国的調査を行うには費用がかなりかかりそうで、本学会の財政で負担できるかどうか予算を立てて審議する必要があることなどの点が指摘され、2013年3月に大阪で開催される「語学エキスポ」の結果を見て判断することになった。

また、学会として取り組むべき問題として、幼少期を中国語環境で過ごした受講生に対して、高校または大学としてどのようなカリキュラムを用意しているか、についての実態調査が必要であるとの指摘がなされた。

#### 報告事項1．会報第35号発行後に開かれた研究会

##### 【関東地区】

・第2回：10月6日 於：大東文化大学

研究発表1：板垣友子氏（大東文化大学院生）「中国語教本『官話急就篇』と『急就篇』の語彙の変化」

研究発表2：瀬戸口律子氏（大東文化大学）「18世紀琉球久米村の中国語教育について」

・第3回：11月17日 於：明治大学

研究発表1：林艳氏（東京外国語大学）「日本人的性格特征と対日汉语教学」

研究発表2：白珍花氏（東京外国語大学院生）「動賓構造における“个(ge)”について」

#### 【九州地区】

・第1回：2013年1月12日 於：北九州市立大学小倉サテライトキャンパス（セミナー形式）

<テーマ：マンネリ化からの脱出 ほんのひと手間で授業が変わる、授業を変える！>

講演1：胡玉华氏（関西学院大学）「「わかる」から「できる」へ 知識を能力にするための教室活動」

講演2：清原文代氏（大阪府立大学）「中国語教師のためのスマートフォン&タブレット入門」

会長記念講演：佐藤富士雄氏（中央大学）「“有没有+後続成分”型疑問文研究の楽しみ」

開催状況の報告の後、関西地区の清原文代理事からは、小嶋美由紀氏の講演が特に好評で、内容を収録したCDの貸し出しを2年契約で譲承していただき、地区研究会費から謝礼として2万円支出したこと、来年度も同じセミナー形式で開催したいとのコメントがあった。

また、九州地区の西香織理事からは、今回の講演者の中で胡玉华氏（会員）に対して謝金2万円を支出したが、謝金の支払い対象を本学会役員にも広げる必要があるのではないか、その場合の基準を学会として設ける必要があるのではとの指摘があり、検討課題とした。

そのほか、複数の理事から、現在の「九州地区研究会」の名称は、研究出張旅費の申請等に不便な場合があり、変更する必要があるとの指摘がなされ、意見を交換したが、消極意見もありその場では結論が得られなかった。その後、理事会メールを通じて議論を続けており、近く結論が出る見通しである。

#### 報告事項2．会費滞納者に対する督促等について

原幹事より、2012年12月16日現在で、29名の除籍対象者が存在することが報告され、3年間滞納した会員に対しては、振込用紙同封でもう一度だけ納入を督促し、1～2ヶ月中に納入されなかった場合は除籍することにしたいとの提案がなされ、了承された。

#### (2) 2013年度全国大会準備委員会が発足

理事会での決定を承けて、開催校で協議の結果、当面以下の6名で大会準備会を構成し、準備作業を担当することとなった。

佐藤富士雄、大川完三郎、原正人、平山邦彦、大宅利美、桑野弘美

これにともない、これまで会計監査委員を担当してこられた平山邦彦氏には、大会準備に専念していただくことし、会計監査委員の後任として石田友美氏（中央大学）を選出し、理事会員の回り持ちによる承認を得た。なお、大会準備委員長の職務は、当初予定していた大川完三郎氏（理事）が健康上の理由で辞退されたため、佐藤富士雄会長が兼務することになった。

また、近年全国大会を開催された経験をお持ちの荒川前会長・現理事（愛知大学）、西香織理事（北九州市立大学）、植村麻紀子理事（神田外語大学）からも助言ならびに資料の提供を受けることとなった。

### (3) 2013 年度全国大会の研究発表・実践報告者募集のお知らせ

上記の理事会報告でも触れたとおり、2013 年度全国大会は、来る 6 月 1 日(土)、2 日(日)の両日、東京都八王子市東中野 742-1 の中央大学多摩キャンパスで開催することになりました。最寄り駅は多摩都市モノレール「中央大学・明星大学駅」または京王線「多摩動物公園駅」です。新宿駅からの所要時間は約 1 時間、東京駅からは約 1 時間半です。

これにともない、全国大会での研究発表者、教育実践報告者を募集します。

**応募資格**：応募時点で 2012 年度までの会費をすべて納入していること。

**内容**：広く中国語教育に関わるもの。ただし、未発表のものに限る。

**応募方法**：氏名、所属、タイトル、要旨(400 字程度)、研究発表・教育実践報告のいずれとして申し込むかを、事務局アドレス(2013annual@jacle.org)宛てに、3 月 8 日(金)必着でお送り下さい。アドレスの間違いないよう、くれぐれもご注意ください。

締め切り後、大会準備会で審査を行い、採用が決まった方には、3 月 15 日(金)頃に正式な発表・報告依頼を差し上げる予定です。どうぞ奮ってご応募下さい。

### (4) 事務局からのお知らせ

#### 1) 年会費納入のお願い

今年度も多数の会員から会費を納入頂きましたが、学会全体で見ますと、いまだ納付率は例年並みにとどまっております。このような状況が続きますと、ひいては本学会の十全な活動に支障を来す可能性もございます。

まだ今年度までの学会費の納入がお済みでない場合も、随時受付けております。振替用紙に氏名、住所、何年度の年会費であるかなど必要事項をこ 記入の上、年会費 5,000 円(1 年分)をお振り込みください。また、滞納のある方は、一括して納入いただけると幸いです。学会の円滑な活動のために、ご協力いただけますようお願い申し上げます。また、もし学会費納入状況についてご不明な点があれば、事務局までご連絡ください。

2) 新会員のお知らせ(2012 年 9 月以降入会分)：丁伊勇(中央大学・非) / 莊巖(秀明大学) / 土手美樹 / 稲葉明子(早稲田大学・非) / 木村智子(高崎経済大学・非) / 別紅櫻(関西外国語大学) / 王峰(関西外国語大学)

その他に、2013 年度からの入会希望者が 3 名ございます。

#### 3) 情報提供のお願い

中国語教育に関する研究会・シンポジウムなどを開催される際には、事務局にご一報ください。本学会ホームページ(<http://www.jacle.org/>)において広く通知いたします。